

- 進行・再発癌
 術後補助化学療法
 術前補助化学療法
 大量化学療法
 局所療法
 その他()

| 投与順 | 抗癌剤名(商品名・略号) | 1日投与量 | 投与法 | 投与時間 | 投与日(d1, d8等) |
|-----|-----------------------------|---|-----|------|--------------|
| 1 | S1(TS-1・テガフル/キメラシロテラシルカリウム) | 80mg/m ² 朝夕分2 <1.25m ² : 80mg/日 1.25~1.5m ² : 100mg/日 >1.5m ² : 120mg/日 | 経口 | 1日2回 | d1夜~d15朝 |
| 2 | トラスツズマブ(ハーセプチン・HER) | 8mg/kg (初回のみ) | div | 90分 | d1 |
| 3 | トラスツズマブ(ハーセプチン・HER) | 6mg/kg (2回目以降) | div | 90分 | d1 |

| | |
|----------------------|--|
| 1コース期間 (次コースまでの標準期間) | 3週間(HERは1投2休、TS-1は2投1休) |
| 総コース数 | 効果判定がPDまでくり返す |
| コース間での休薬の規定 | トラスツズマブの心毒性のために心機能が低下した場合、トラスツズマブを休薬する G3以上の血液毒性発現時は、回復するまで延期 |

| | |
|------------------------|------------------------------|
| 減量規定・中止基準 | G3以上の血液毒性の発現時 |
| 投与量の増量規定 | なし |
| 投与期間の短縮規定 | なし |
| コースによる変化 | HER初回投与時は8mg/kg、2回目以降は6mg/kg |
| 1日の中での抗癌剤投与順 | なし |
| プレメディケーション・ポストメディケーション | なし |

患者条件

- ・PS 0~2
- ・HER2過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発胃癌患者
- ・主要臓器が保たれている患者
- ・心機能が保たれている患者

除外規定

- ・PS 3以上
- ・骨髄機能低下の著しい患者
- ・重篤な腎障害のある患者
- ・重篤な感染症を合併している患者
- ・重篤な心障害のある患者(左室駆出率50%未満)
- ・フルオロウラシルに対し過敏症の既往歴のある患者

実施上の注意点

- ・ハーセプチン投与開始前には必ず患者の心機能を確認する。
- ・ハーセプチン投与開始24時間以内に現れるInfusion reactionのうち、アナフィラキシー様症状、肺障害等の重篤な副作用は特に安静時呼吸困難のある患者、又はその既往歴のある患者において重篤化しやすいので、患者の状態を十分に観察しながら慎重に投与する。